

平成25年度

幸区子育て世代アンケート調査 概要版

調査の概要

【調査対象】 幸区在住の0歳～11歳までの子どもを持つ保護者2,000人（外国人を含む）

【標本抽出】 平成25年3月31日現在の住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出

【調査方法】 郵送配布－郵送回収法

【調査期間】 平成25年6月11日～7月1日

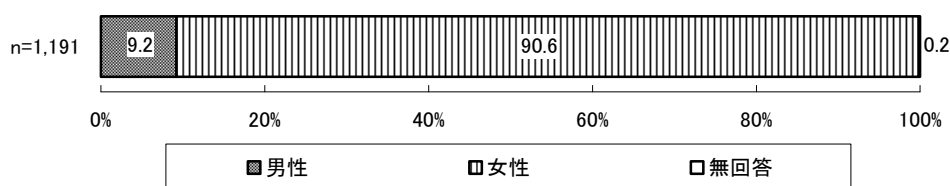
【回収状況】 調査件数：2,000件
有効回収数：1,191件
有効回収率：59.6%

- 【調査項目】
- (1) 子育てについて
 - (2) 子育て支援施設・サービスなどについて
 - (3) 子育て情報について
 - (4) 子育て中の交流について
 - (5) 子どもの自転車の利用について
 - (6) 携帯電話やスマートフォンの利用について
 - (7) 区で行う事業やイベントについて
 - (8) 幸区での子育てについて

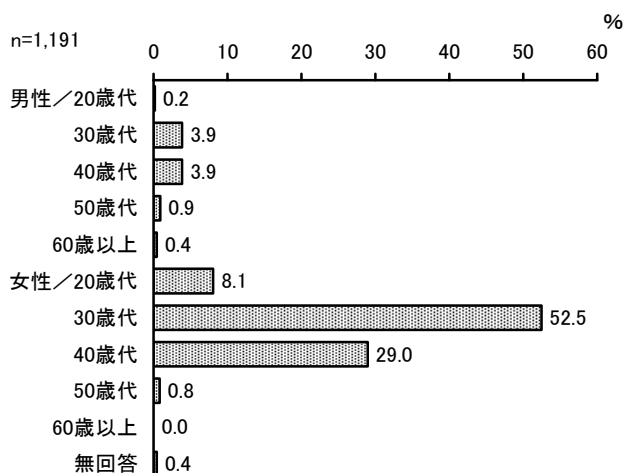
※ 図中における基数となるべき実数(n)は回答者数を示している。また、本文中の「構成比(%)」は小数点以下第2位を四捨五入していること、並びに複数回答によるものも含まれていることから、構成比の合計が100%に満たない、あるいは上回る場合がある。

○調査回答者の属性

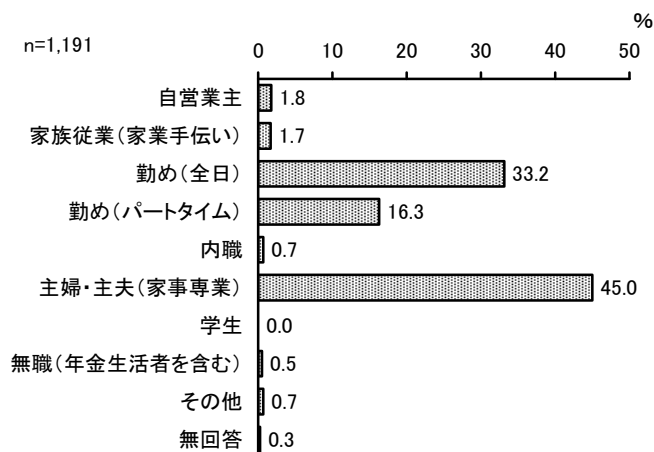
【F1】回答した保護者の性別



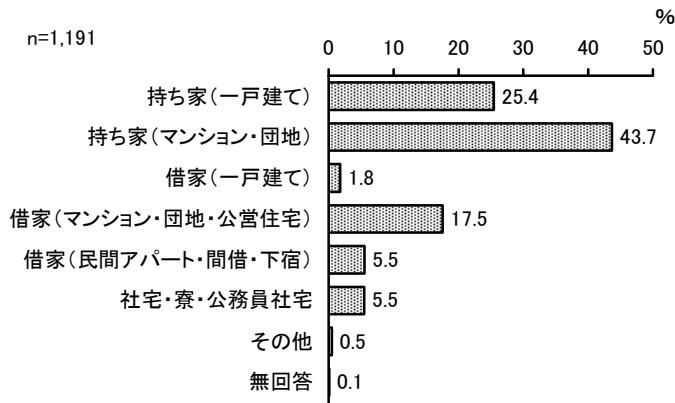
【F2】回答した保護者の性・年齢別



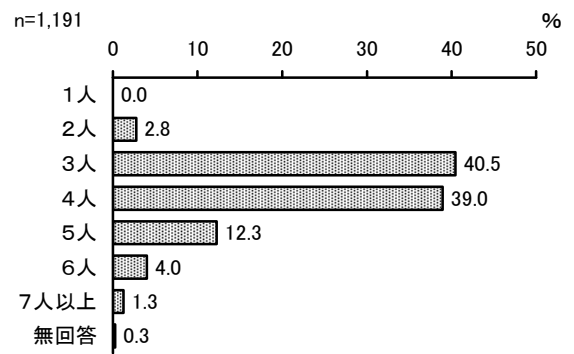
【F3】回答した保護者の職業



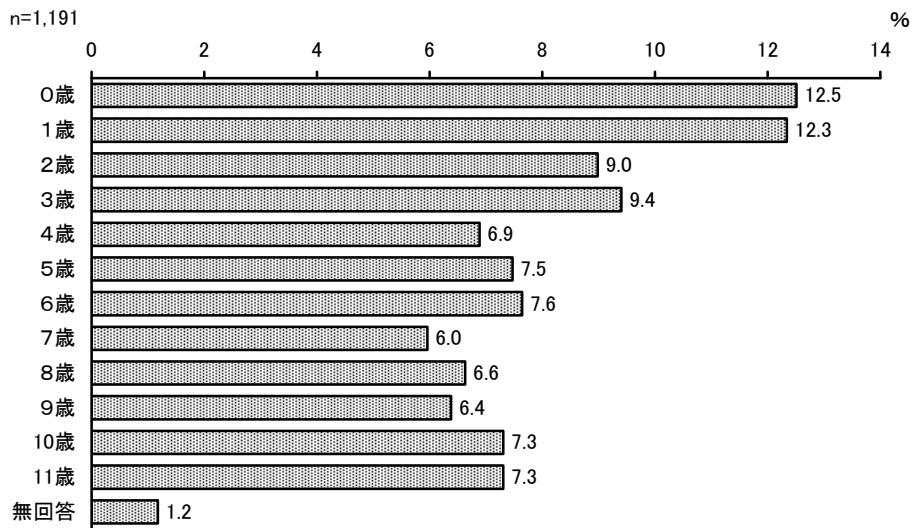
【F4】居住形態



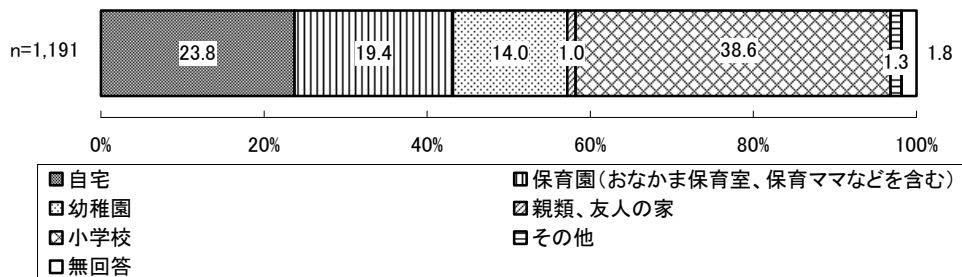
【F5】同居家族の人数



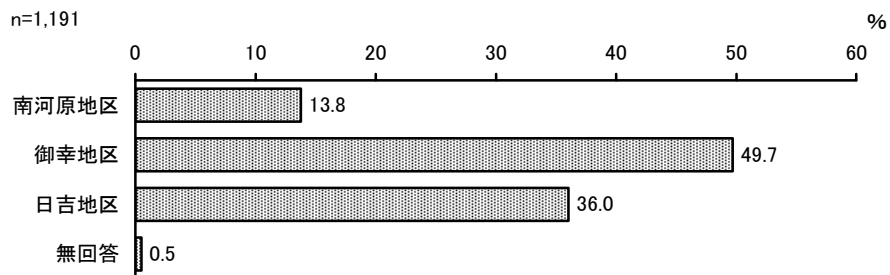
【F6】子どもの年齢



【F7】平日の日中、子どもが過ごしている場所



【F8】居住地区



※各地区の内訳

【幸区役所管内】

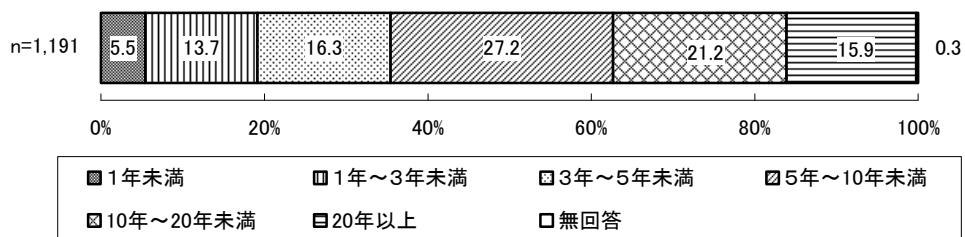
南河原地区：大宮町、幸町、中幸町、堀川町、南幸町、都町、柳町

御幸地区：遠藤町、河原町、小向町、小向仲野町、小向西町、紺屋町、下平間、新塚越、神明町、塚越、戸手、戸手本町、東古市場、古市場、古川町

【日吉出張所管内】

日吉地区：小倉、鹿島田、北加瀬、新川崎、東小倉、南加瀬、矢上

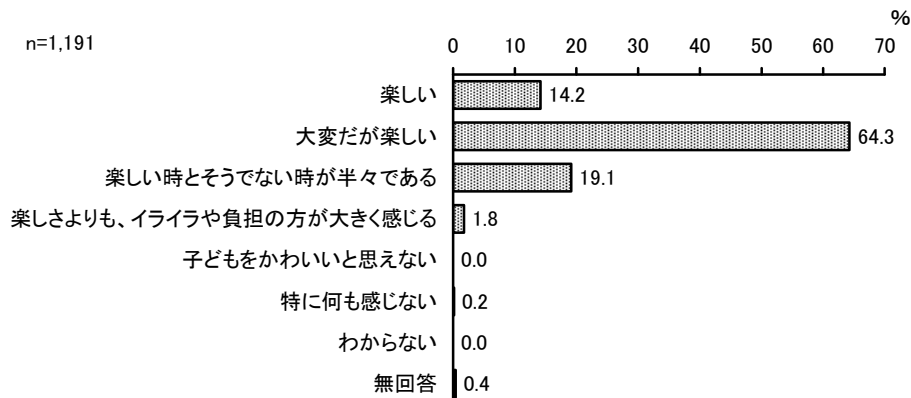
【F9】居住年数



1 子育てについて

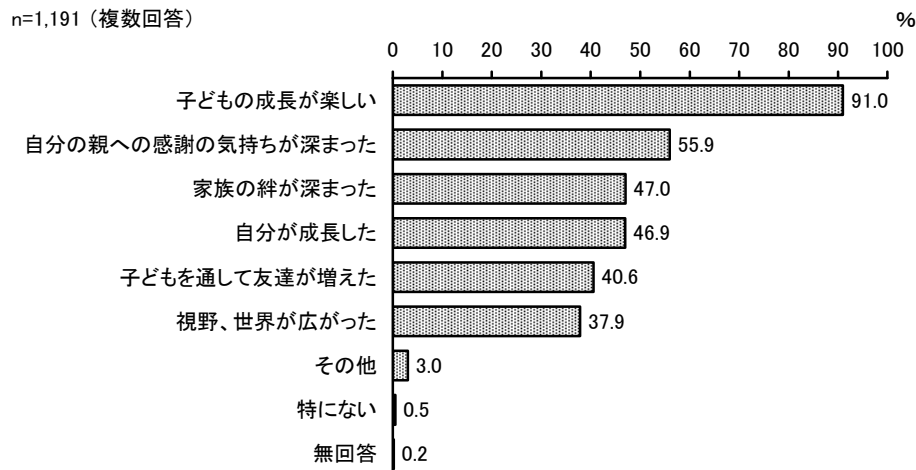
(1) 子育てをどう感じているか

「楽しい」(14.2%)、「大変だが楽しい」(64.3%) を合わせると、78.5%が楽しいと感じている。



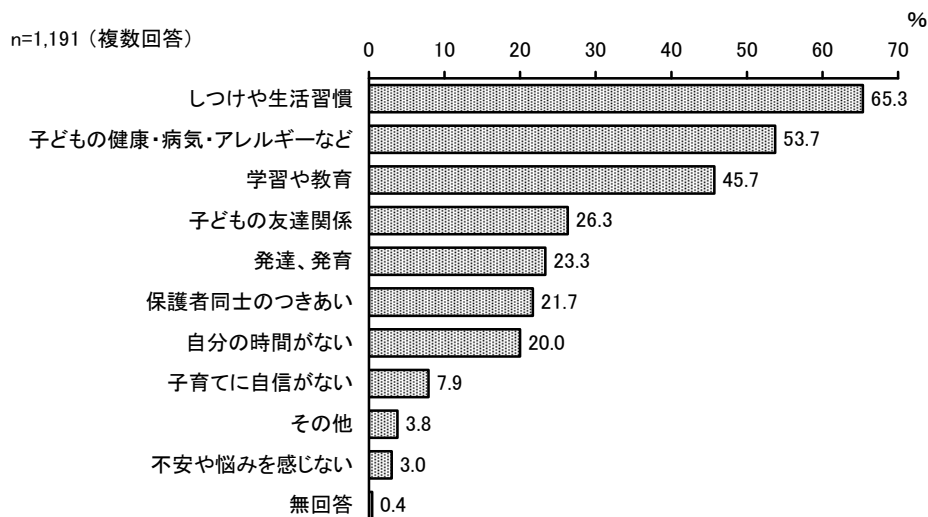
(2) 子育てをして良かったと思うこと

「子どもの成長が楽しい」が91.0%で最も高く、次いで「自分の親への感謝の気持ちが深まった」(55.9%)、「家族の絆が深まった」(47.0%) と続いている。



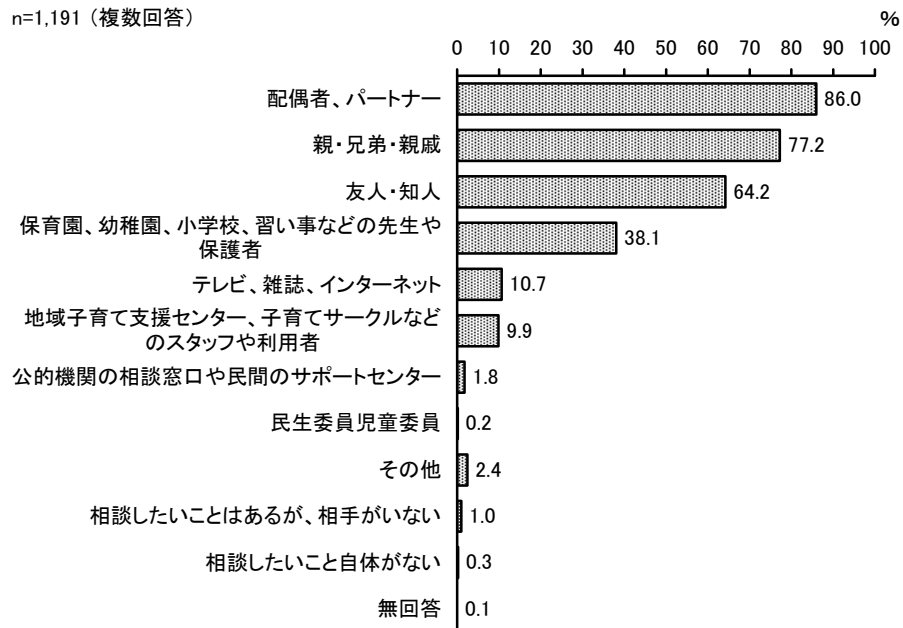
(3) 子育てをしている時に感じる不安・悩み

「しつけや生活習慣」が65.3%で最も高く、次いで「子どもの健康・病気・アレルギーなど」(53.7%)、「学習や教育」(45.7%) と続いている。



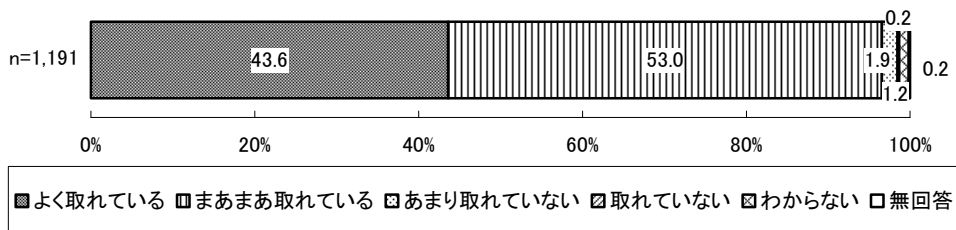
(4) 子育てについての相談先

「配偶者、パートナー」が86.0%で最も高く、次いで「親・兄弟・親戚」(77.2%)、「友人・知人」(64.2%)と続いている。



(5) 親子の触れ合い、コミュニケーションの状況

「よく取れている」(43.6%)、「まあまあ取れている」(53.0%)を合わせると、96.6%が取れていると回答している。

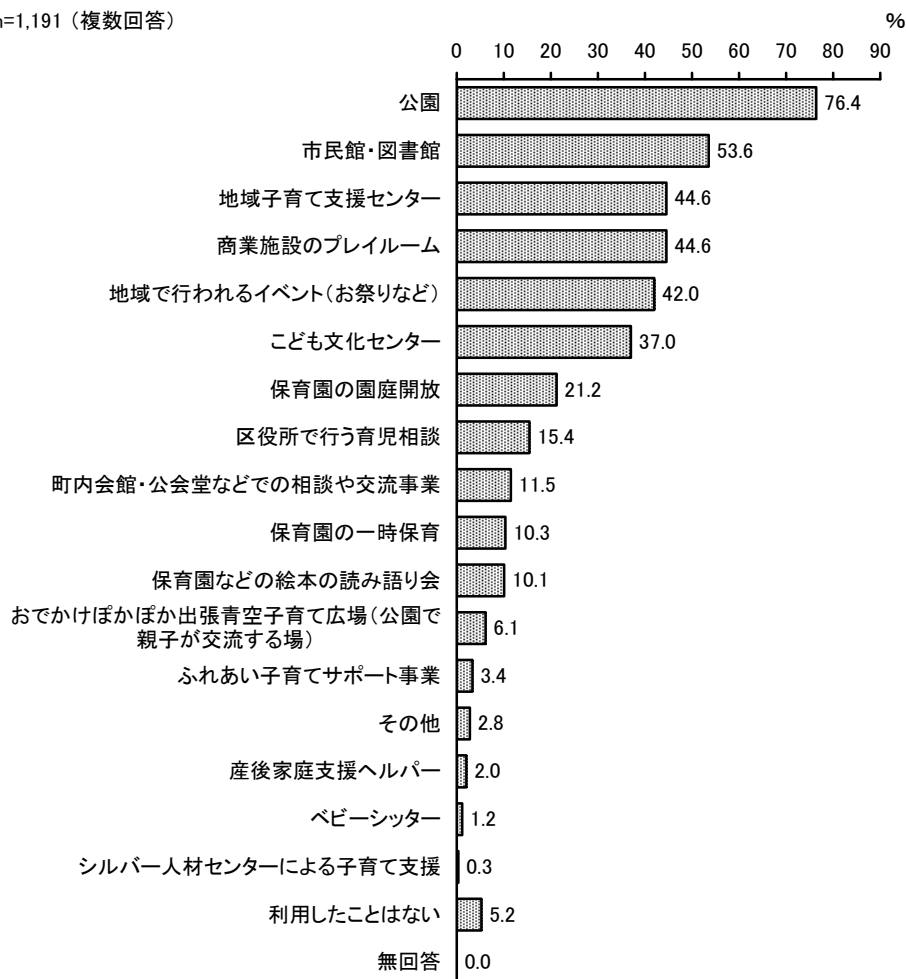


2 子育て支援施設・サービスなどについて

(1) 子育てで利用したことがあるもの

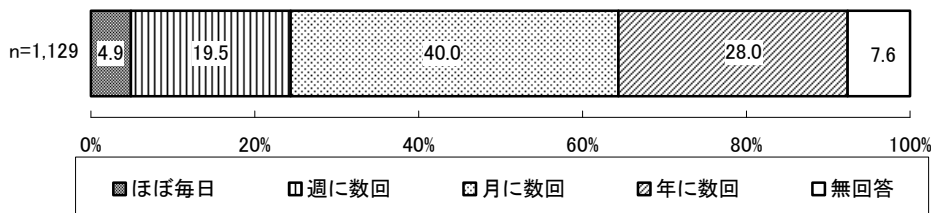
「公園」が76.4%で最も高く、次いで「市民館・図書館」(53.6%)、「地域子育て支援センター」(44.6%)、「商業施設のプレイルーム」(44.6%)と続いている。

n=1,191 (複数回答)



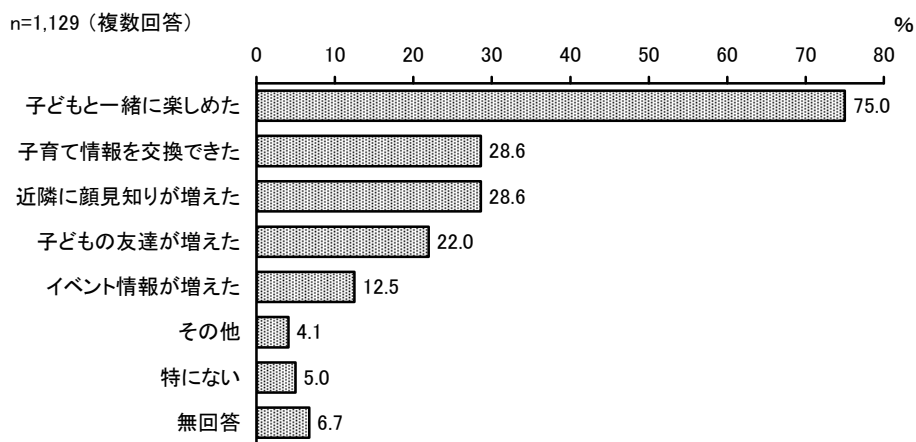
(2) 子育て支援施設、サービスなどの利用頻度

利用したことがあると回答した人に利用頻度を聞いたところ、「月に数回」が40.0%で最も高く、次いで「年に数回」(28.0%)、「週に数回」(19.5%)と続いている。



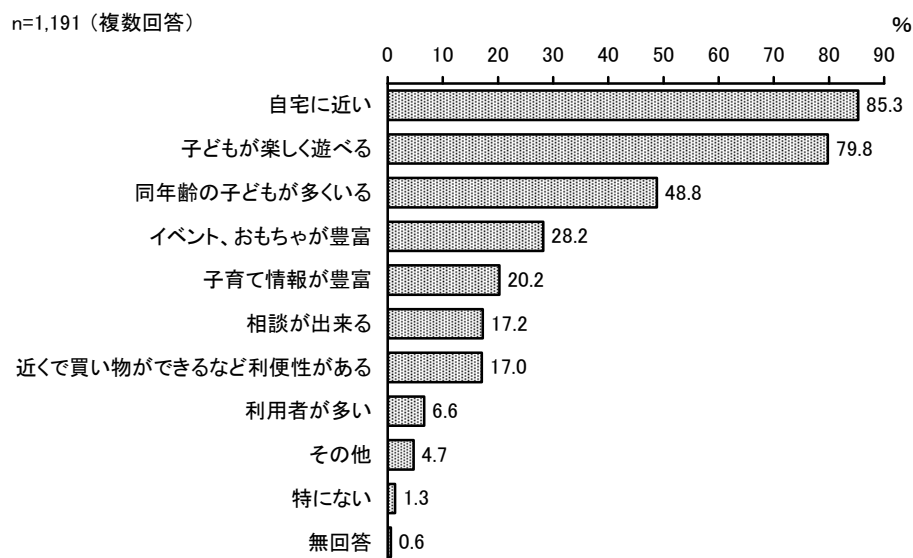
(3) 利用して良かったこと

利用したことがあると回答した人に良かったことを聞いたところ、「子どもと一緒に楽しめた」が75.0%で最も高く、次いで「子育て情報を交換できた」(28.6%)、「近隣に顔見知りが増えた」(28.6%)と続いている。



(4) 利用したいと思う子育て支援施設を選ぶポイント

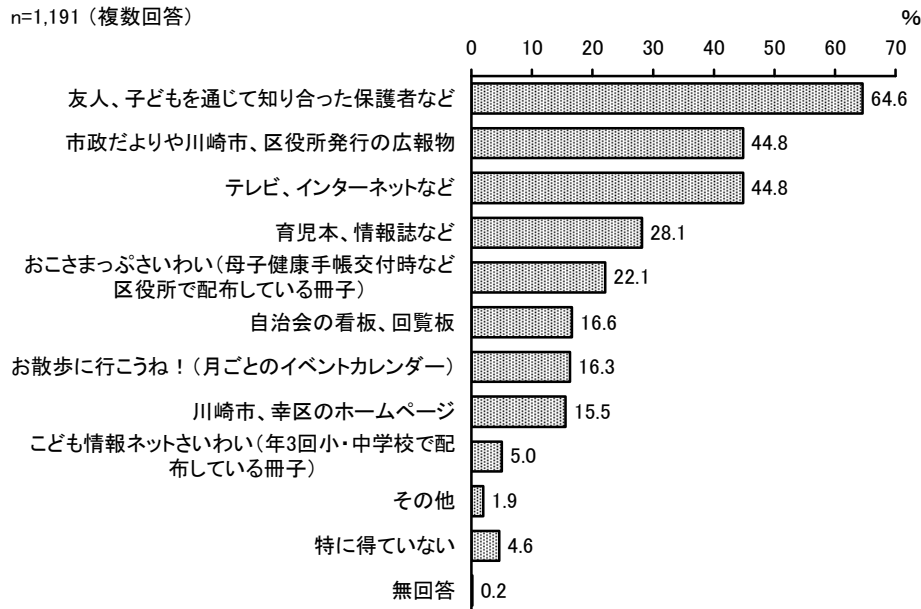
「自宅に近い」が85.3%で最も高く、次いで「子どもが楽しく遊べる」(79.8%)、「同年齢の子どもが多くいる」(48.8%)と続いている。



3 子育て情報について

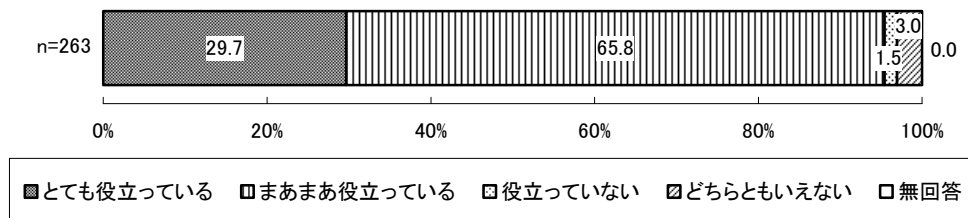
(1) 子育て情報の入手経路

「友人、子どもを通じて知り合った保護者など」が64.6%で最も高く、次いで「市政だよりや川崎市、区役所発行の広報物」(44.8%)、「テレビ、インターネットなど」(44.8%)と続いている。



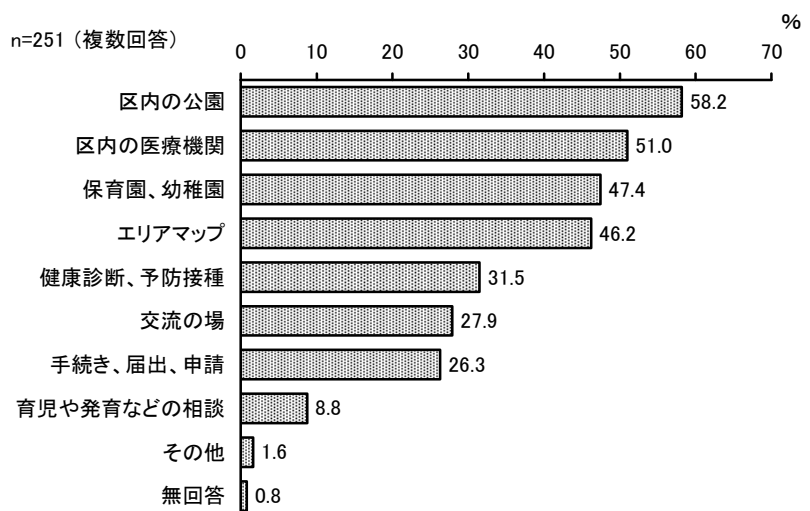
(2) 「おこさまっぷさいわい」は役立っているか

子育て情報の入手経路で「おこさまっぷさいわい」と回答した人に役立っているかを聞いたところ、「とても役立っている」(29.7%)、「まあまあ役立っている」(65.8%)を合わせると、95.5%が役立っていると回答している。



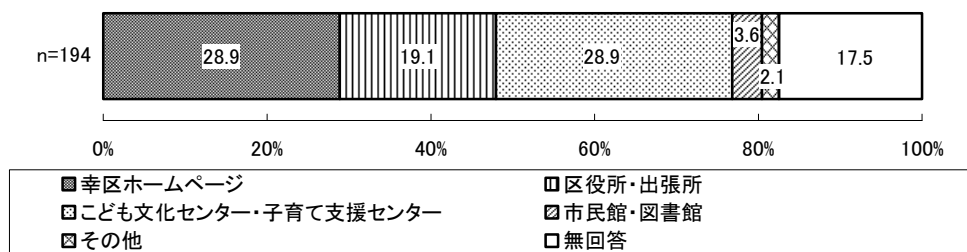
(3) どのような情報が役立っているか

「おこさまっぷさいわい」が『役立っている』と回答した人に、どのような情報が役立っているかを聞いたところ、「区内の公園」が58.2%で最も高く、次いで「区内の医療機関」(51.0%)、「保育園、幼稚園」(47.4%)と続いている。



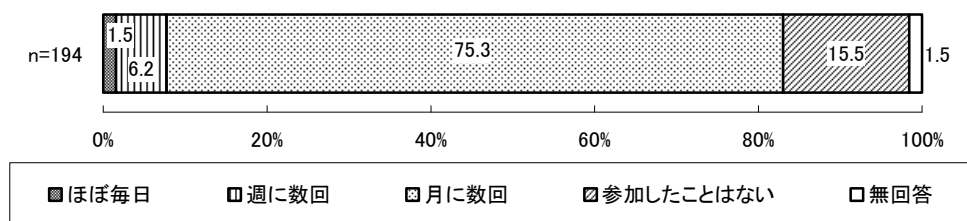
(4) 「お散歩に行こうね！」の入手経路

子育て情報の入手経路で「お散歩に行こうね！」と回答した人に、その入手経路を聞いたところ、「幸区ホームページ」と「こども文化センター・子育て支援センター」がそれぞれ28.9%で最も高く、次いで「区役所・出張所」(19.1%)と続いている。



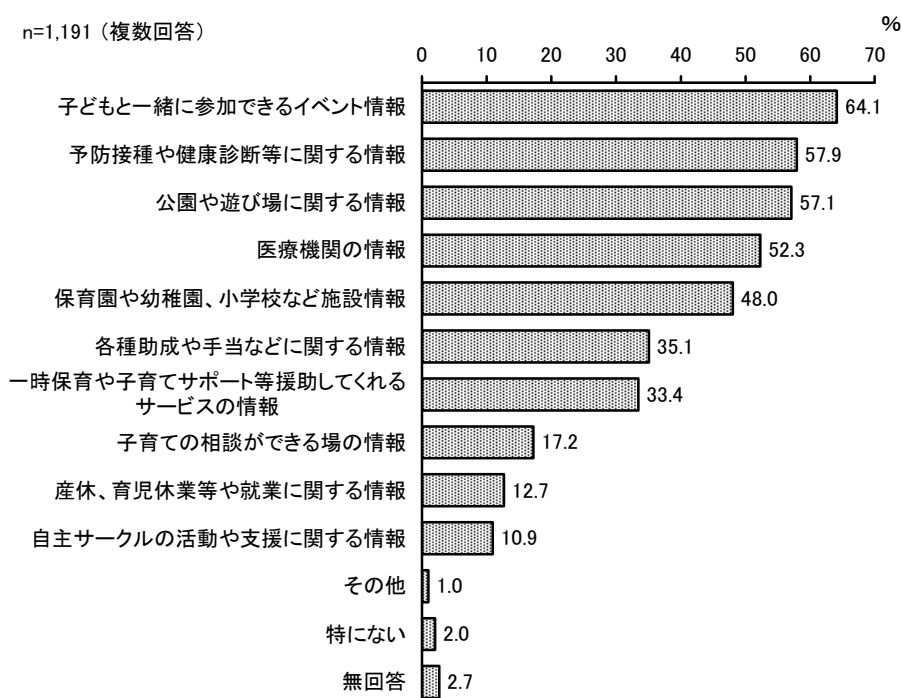
(5) 「お散歩に行こうね！」を見てイベントに参加した頻度

子育て情報の入手経路で「お散歩に行こうね！」と回答した人に、「お散歩に行こうね！」を見てイベントに参加した頻度を聞いたところ、「月に数回」が75.3%で最も高く、次いで「週に数回」(6.2%)、「ほぼ毎日」(1.5%)と続いている。



(6) 子育て情報としてほしいもの

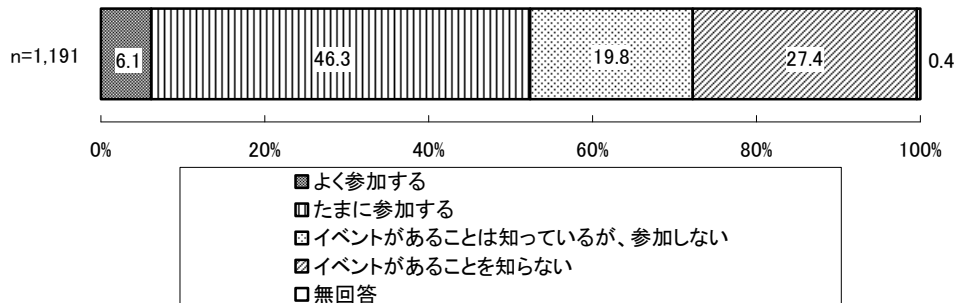
「子どもと一緒に参加できるイベント情報」が64.1%で最も高く、次いで「予防接種や健康診断等に関する情報」(57.9%)、「公園や遊び場に関する情報」(57.1%)と続いている。



4 子育て中の交流について

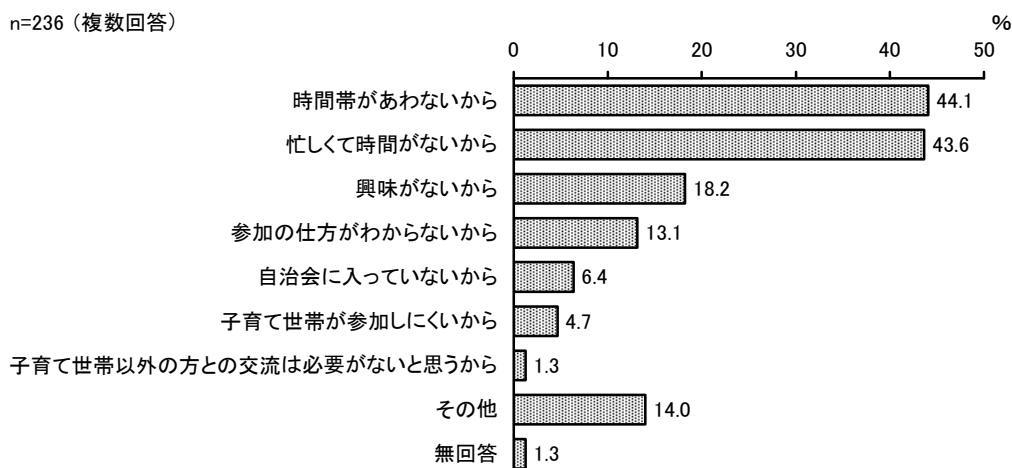
(1) 自治会などの地域のイベントへの参加状況

「よく参加する」(6.1%)、「たまに参加する」(46.3%)を合わせると52.4%が参加すると回答している。



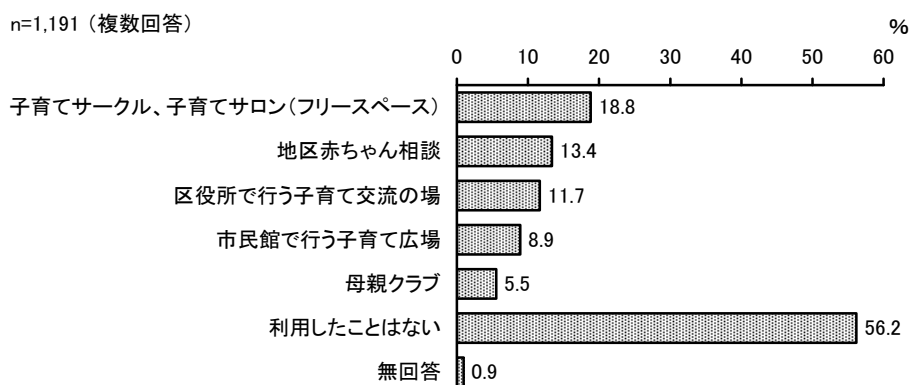
(2) 参加しない理由

「イベントがあることは知っているが、参加しない」と回答した人に理由を聞いたところ、「時間帯があわないから」(44.1%)と「忙しくて時間がないから」(43.6%)がほぼ最上位で並び、次いで「興味がないから」(18.2%)と続いている。



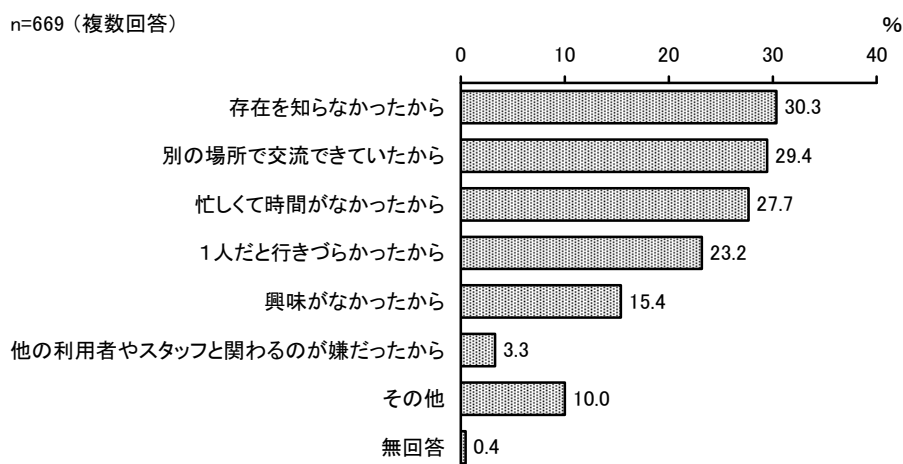
(3) 利用したことがある子育て交流の場

「子育てサークル、子育てサロン(フリースペース)」が18.8%で最も高く、次いで「地区赤ちゃん相談」(13.4%)、「区役所で行う子育て交流の場」(11.7%)と続いている。一方、「利用したことはない」は56.2%となっている。



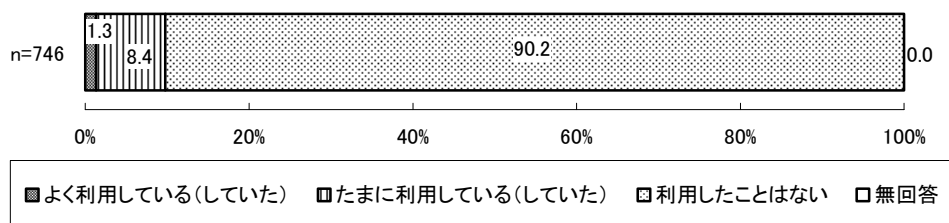
(4) 子育て交流の場を利用しなかった理由

「利用したことはない」と回答した人に理由を聞いたところ、「存在を知らなかったから」が 30.3%で最も高く、次いで「別の場所で交流できていたから」(29.4%)、「忙しくて時間がなかったから」(27.7%)と続いている。



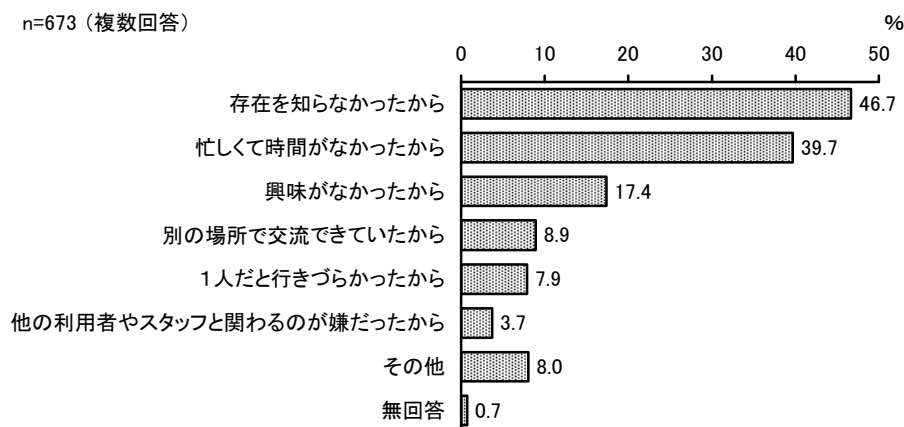
(5) 父親の育児参加のための育児講座の利用状況

「利用したことはない」が 90.2%で最も高くなっている。一方、利用者では、「よく利用している (していた)」(1.3%)、「たまに利用している (していた)」(8.4%)を合わせると、9.7%となっている。



(6) 父親の育児参加のための育児講座を利用しなかった理由

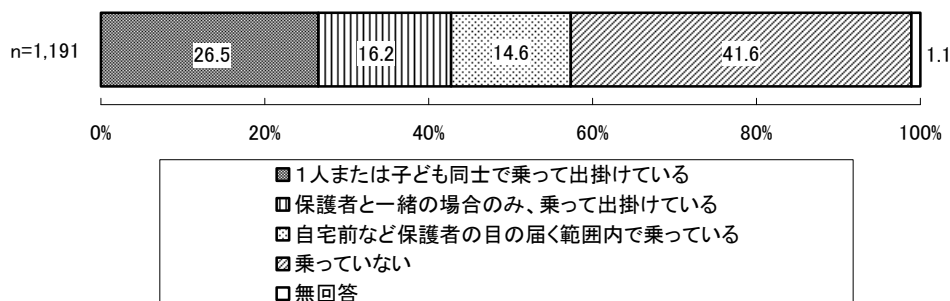
「利用したことはない」と回答した人に理由を聞いたところ、「存在を知らなかったから」が 46.7%で最も高く、次いで「忙しくて時間がなかったから」(39.7%)、「興味がなかったから」(17.4%)と続いている。



5 子どもの自転車の利用について

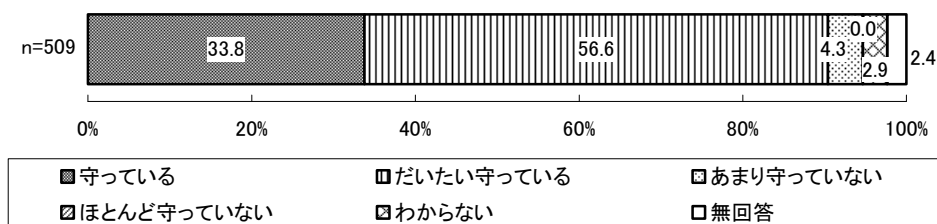
(1) 子どもの自転車利用状況

「1人または子ども同士で乗って出掛けている」が26.5%で最も高く、次いで「保護者と一緒の場合のみ、乗って出掛けている」(16.2%)、「自宅前など保護者の目の届く範囲内で乗っている」(14.6%)と続いている。一方、「乗っていない」は41.6%となっている。



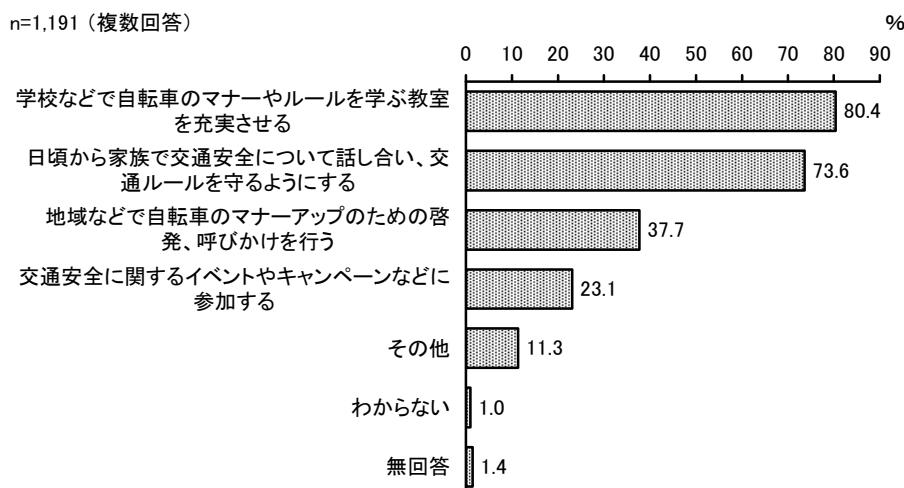
(2) 交通ルールの遵守

「1人または子ども同士で乗って出掛けている」、「保護者と一緒の場合のみ、乗って出掛けている」と回答した人に、交通ルールの遵守について聞いたところ、「守っている」(33.8%)、「だいたい守っている」(56.6%)を合わせると、90.4%が守っていると回答している。



(3) 子どもの自転車事故をなくすために必要だと思う対策

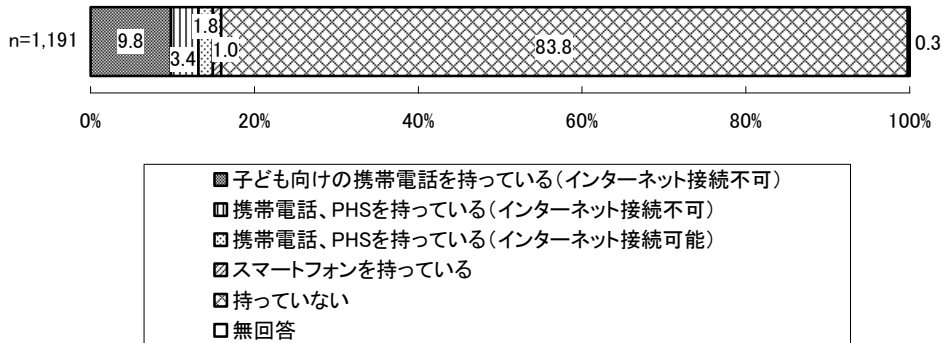
「学校などで自転車のマナーやルールを学ぶ教室を充実させる」が80.4%で最も高く、次いで「日頃から家族で交通安全について話し合い、交通ルールを守るようにする」(73.6%)、「地域などで自転車のマナーアップのための啓発、呼びかけを行う」(37.7%)と続いている。



6 携帯電話やスマートフォンの利用について

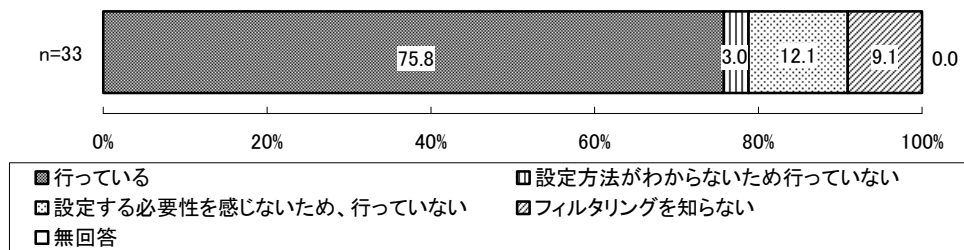
(1) 子どもの携帯電話やスマートフォンの所持状況

「持っていない」が 83.8%で最も高くなっている。一方、所持者では、「子ども向けの携帯電話を持っている（インターネット接続不可）」が 9.8%となっている。



(2) インターネットの閲覧制限の設定状況

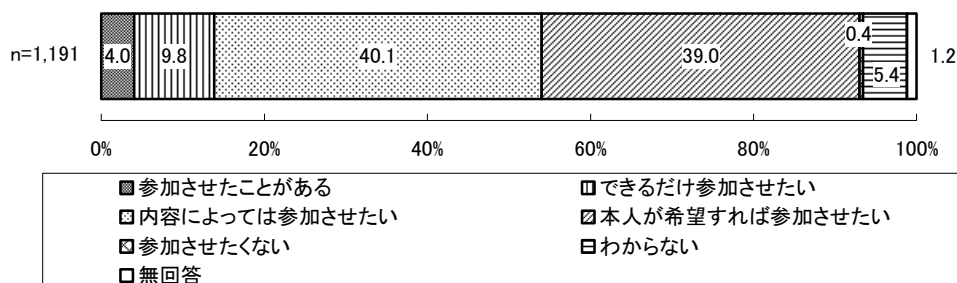
「携帯電話、PHS を持っている（インターネット接続可能）」、「スマートフォンを持っている」と回答した人に、インターネットの閲覧制限の設定状況を聞いたところ、「行っている」が 75.8%で最も高くなっている。



7 区で行う事業やイベントについて

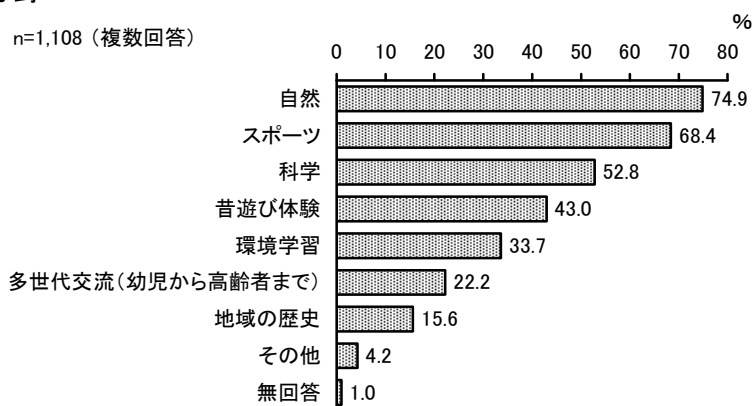
(1) 子どもや親子向けの事業やイベントへの参加意向

「参加させたことがある」(4.0%)、「できるだけ参加させたい」(9.8%)、「内容によっては参加させたい」(40.1%)、「本人が希望すれば参加させたい」(39.0%)を合わせると、92.9%が参加させたい(させたことがある)と回答している。



(2) 参加させてみたい事業やイベントの分野

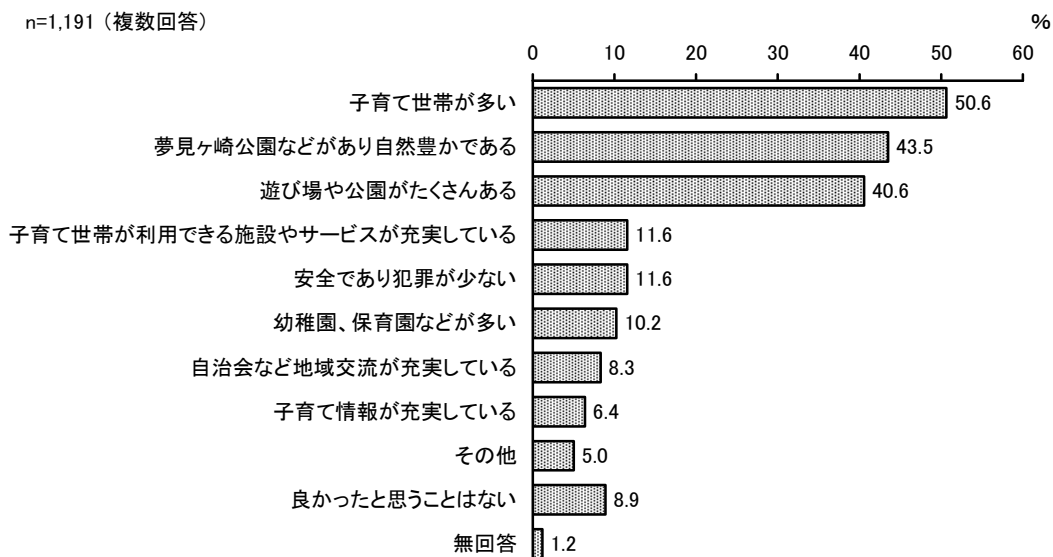
「参加させたことがある」、「できるだけ参加させたい」、「内容によっては参加させたい」、「本人が希望すれば参加させたい」と回答した人に、参加させてみたい分野を聞いたところ、「自然」が74.9%で最も高く、次いで「スポーツ」(68.4%)、「科学」(52.8%)と続いている。



8 幸区での子育てについて

(1) 幸区で子育てをして良かったと思うこと

「子育て世帯が多い」が50.6%で最も高く、次いで「夢見ヶ崎公園などがあり自然豊かである」(43.5%)、「遊び場や公園がたくさんある」(40.6%)と続いている。





平成 25 年度 幸区子育て世代アンケート調査 <概要版>

平成 25 年 10 月

発 行 幸区役所 まちづくり推進部企画課

〒212-8570 川崎市幸区戸手本町 1-11-1

TEL 044-556-6612(直通)

FAX 044-555-3130

メールアドレス 63kikaku@city.kawasaki.jp